

<表彰委員会報告> 2024 年度 表彰者の紹介

【功労賞】

みうら やすなり
三浦 康成 氏（苫小牧支部）

昭和 35 年 5 月 21 日生

会員番号 26418（昭和 60 年 10 月 26 日 会員登録）

三浦康成氏は、奉職以来 42 年の長きにわたり職務に精通し、地域医療充実のためにその豊富な経験と知識をもって多大な貢献をされてきました。現在もなお地域住民の健康保全と増進に向けて、地域医療に対する貢献を続けております。氏は平成 5 年より苫小牧放射線技師会理事に就任され、続く平成 9 年には同会事務局長、また平成 15 年からは同じく苫小牧放射線技師会副会長を歴任されました。副会長を退任後の平成 26 年から令和 2 年までの間には、同会アカデミー委員を担っておられました。その間の平成 14 年から令和元年までの 18 年間は本会教育委員を務められ、本会事業の根幹を成す学術関連事業の立案、促進、運営に携わられました。また JART との共催で入会促進事業として開催しているフレッシュャーズセミナーでは、2011 年より通算 10 回の講師を担われました。これらの業績は支部のみならず、北海道放射線技師会会員の知識・技術の習得および会の発展に対し多大なる貢献となりました。40 年を超える長きにわたり地域医療の充実に対する努力と、部下および会員への指導など功績は誠に多大であり、今回、功労賞を受賞されることになりました。

（功績）

平成 5 年～平成 9 年：苫小牧放射線技師会 理事（4 年）

平成 9 年～平成 15 年：苫小牧放射線技師会 事務局長（6 年）

平成 15 年～平成 26 年：苫小牧放射線技師会 副会長（11 年）

平成 30 年～令和 2 年：苫小牧放射線技師会 監事（2 年）

フレッシュャーズセミナー講師：10 回

・平成 14 年～令和元年：北海道放射線技師会 教育委員

【功労賞】

ごとう としふみ
後藤 敏文 氏（十勝支部）

昭和 36 年 10 月 1 日生

会員番号 27444（平成 3 年 8 月 1 日 会員登録）

後藤敏文は、奉職以来 40 年にわたり職務に精通し道内地域住民の健康保持と増進のため尽力されるとともに、現在も引き続き地域住民の健康保全に携わられております。氏は平成 14 年からの 3 期 6 年間、

十勝放射線技師会の理事に就任され、続く平成 20 年からは 1 期 2 年間、同会副会長を務められ、十勝地域の事業において統括的な管理を行うとともに、事業推進と診療放射線技師の資質向上に努めてこられました。平成 22 年からの 5 期 10 年間は同会会長（支部長）として本会の運営に携わり、また帯広市医師会とともに肺癌早期診断プロジェクトを立ち上げ、地域医療の充実に努められました。会長任期中の平成 23 年には、全国 X 線撮影技術読影研究会帯広大会において大会長を務め、診療放射線技師の撮影技術の発展向上を図られました。40 年以上の長きにわたる地域医療の充実に対する努力と、本会並びに支部事業の活発化および放射線技術向上への貢献は多大であり、今回、功労賞を受賞されることになりました。

（功績）

平成 14 年～平成 20 年：十勝放射線技師会 理事（6 年）
平成 20 年～平成 22 年：十勝放射線技師会 副会長（2 年）
平成 22 年～令和 2 年：十勝放射線技師会 会長（10 年）

【中島賞】

きしもと あきひさ
岸本 彰久 氏（旭川支部）

昭和 39 年 1 月 15 日生

会員番号 h36062（平成 4 年 8 月 14 日 会員登録）

岸本彰久氏は、奉職以来 38 年の長きにわたり職務に精通し、地域住民の医療福祉の向上ならびに診療放射線技師の教育、技術の発展に尽力されました。現在も整形外科クリニックの技師長として勤務し、特に旭川市内、中小規模病院に勤務する診療放射線技師のリーダーかつ相談役として、放射線検査技術の啓蒙、後進の育成にご尽力されております。氏は平成 10 年 4 月に旭川放射線技師会の理事を 2 期 4 年間務められ、その後平成 22 年 4 月からは 4 期 8 年間勤に渡り同会副会長を務められました。また平成 30 年からの 3 期 6 年間は監事を担われております。野球大会やゴルフ大会など会員相互の親睦事業に率先して参加し、特に野球部ではキャプテンや監督を歴任しチームをまとめるなど、会員同士の交流を大切にし、業務に直結するような情報交換の場を提供することにご尽力されました。長年にわたる地域住民の保健医療と福祉に貢献し、地域放射線技師会の運営にご尽力されるとともに診療放射線技師の育成、および会の発展に寄与されたこれら功績は大きく、今回、中島賞を受賞されることになりました。

（功績）

平成 10 年～平成 13 年：旭川放射線技師会 理事（4 年）
平成 22 年～平成 29 年：旭川放射線技師会 副会長（8 年）
平成 30 年～令和 6 年：旭川放射線技師会 監事（6 年）

【学術賞】

加藤^{かとう} 徳史^{のりふみ} 氏（十勝支部）

昭和 39 年 9 月 16 日生

会員番号 27912（昭和 62 年 7 月 25 日 会員登録）

加藤徳史氏は、奉職以来 38 年の長きにわたり職務に精通し、これまで地域住民のみならず広範囲な地域における住民の健康保全と増進のため多大な貢献を続けておられます。また、院内診断画像科の運営、部下の育成のみならず医療技術部副部長としても重積を担って来られました。氏は平成 24 年度より本会教育委員を務められ、本会活動の根幹を成す学術事業を支えるとともに、会の発展および放射線技術と知識の向上に大きく貢献されました。本会主催事業の“フレッシューズセミナーその後”においては平成 27 年の初回開催より昨年度までの通算 9 回全てにおいて講師を勤められました。氏が担当する医療安全の講義では「他己紹介」といった手法を取り入れ、参加者が楽しく受講しながら医療安全について知識を得ることができる大変有意義な講義が印象的でした。フレッシューズに限らずベテラン放射線技師も参加する当セミナーにおいて多くの参加者に向けた長年にわたる講義は、本会会員の知識と技術の向上に大きく寄与されました。その功績は誠に大きく、今回、学術賞を受賞されることになりました。

（功績）

平成 27 年～令和 5 年：“フレッシューズセミナーその後” 講師（通算 9 回）

- ・平成 24 年～令和 6 年：北海道放射線技師会 教育委員
- ・平成 24 年～平成 30 年：十勝放射線技師会 理事
- ・平成 30 年～令和 6 年：十勝放射線技師会 副会長

【学術賞】

齋藤^{さいとう} 良憲^{よしのり} 氏（小樽後志支部）

昭和 45 年 1 月 9 日生

会員番号 36998（平成 5 年 8 月 3 日 会員登録）

齋藤良憲氏は、奉職以来 33 年にわたり職務に精通し、住民の健康保全と増進のため尽力されております。氏は平成 14 年より 5 期 10 年間、本会理事を務められました。理事退任後の平成 24 年から令和 2 年までの 8 年間は本会教育委員として事業の根幹を成す学術関連事業の立案、促進、運営に積極的に携わり、会員知識の向上と技術の発展に貢献されました。本会主催事業の“フレッシューズセミナーその後”においては、平成 27 年の初回開催より通算 8 回の講師を勤められました。一般撮影の腹部領域において、読影の補助に繋がる基礎的な画像の特徴について大変分かりやすい講義を展開されました。また、平成

15年からの5年間はJART生涯学習セミナーの乳房検査において、さらには平成24年の診療放射線技師基礎技術講習・乳房撮影の講師を務められました。長年かつ多数回にわたる充実した講義は、本会会員の知識と技術の向上に大きく寄与されました。その功績は誠に大きく、今回、学術賞を受賞されることになりました。

(功績)

平成27年～令和4年 : “フレッシューズセミナーその後” 講師 (通算8回)
平成15年～平成19年 : JART生涯学習セミナー”乳房検査” 講師
平成24年 : 診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」 講師

・平成14年～平成24年 : 理事

【学術賞】

かとう まきのり
加藤 公規 氏

昭和50年12月12日生

会員番号41559 (平成9年7月29日 会員登録)

加藤公規氏は、奉職以来27年にわたり職務に精通し、北海道民の健康保全と増進のため尽力されております。氏は平成20年の理事就任後、5期10年間にわたり本会学術事業の運営に深く携わられました。道内各支部に出向いて開催された“読影の補助セミナー”では、氏の得意とする腹部領域において多数回の講演を担当されてきたほか、地域学術大会においても恒例となっていた読影の補助セミナーにおいても講師を務められました。また理事在任中には放射線機器管理士委員会事務局長を務め、放射線管理士・機器管理士委員会合同セミナーとして開催した「医療被ばく測定の実際」では多く講師を担うとともに、その知識をもとに実習のサポートも担当されました。多数回にわたる専門的な講義と多くの実習サポートは、本会会員の知識と技術の向上に大きく寄与されました。その功績は誠に大きく、今回、学術賞を受賞されることになりました。

(功績)

平成25年～平成29年 : 講師・支部読影の補助セミナー (函館支部、旭川支部) ほか多数回にわたる

- ・平成20年～平成30年 : 理事
- ・令和元年～令和2年 : 十勝放射線技師会 副会長
- ・令和4年～ : オホーツク放射線技師会 副会長

【学術賞】

みすみ しょうご
三角 昌吾 氏

昭和 52 年 6 月 8 日生

会員番号 45271（平成 12 年 12 月 21 日 会員登録）

三角昌吾氏は、奉職以来 24 年にわたり職務・研究に精通し、道内医療の牽引を担う大学病院に勤務され、多くの患者に対する診断・治療の一翼を担って来られました。臨床において救急医療はもとより核医学検査や CT 検査等、広範な分野にわたり臨床と研究において様々な実績を積んでおられます。また、最近では能登半島地震における災害対策にも関わり医療の充実に貢献されております。本会において氏は、放射線機器管理委員として支部における放射線被ばくに関わる種々のセミナーにて、会員知識の向上と技能の習得に向けた講師・指導者として継続的に本会活動を支えていただいております。また JART との共催で開催しているフレッシューズセミナーでは、2011 年より現在までに通算 11 回の講師を担われました。支部開催における読影の補助セミナーでは医師講師とともに有意義な討論を展開、さらに地域学術大会における読影の補助セミナーにおいては、氏の精通する救急医療分野で killer disease に関する講演をされています。長年に渡るこれら多くの活動は本会学術事業の活性化に大きく寄与するところであり、今後も様々な分野に精通する氏の知識を会員資質向上のために役立てていただきたく、更なる活躍をお願いするところです。以上これまでの功績は誠に大きく、今回、学術賞を受賞されることになりました。

（功績）

平成 23 年～ ：“フレッシューズセミナー”講師（通算 11 回）

平成 24 年 ：診療放射線技師基礎技術講習「核医学」

・北海道放射線技師会 放射線機器管理委員